

20～40 代の男性を中心に
風疹の患者が増加しています

風疹に注意

風疹とは

風疹ウイルスによる感染症で「三日はしか」とも呼ばれ、咳やくしゃみの飛沫（ひまつ）で感染が拡大します。例年春先から初夏にかけて多く発生し、妊娠初期の女性が罹ると生まれてくる子供に難聴や心疾患などの障害が出る可能性があります。

症状・経過

○潜伏期：2～3週間

○症状：発熱・発疹・リンパ節の腫れが主な症状です

発熱は風疹患者の約半数の人にみられ程度です

発疹は顔や首から始まり全身に広がりますが、3日程度で消えてしまいます

*一般的に15才以上の方が風疹に罹ると症状が重くなり、頭痛・関節炎・脳炎・皮下の内出血などの合併症が現れる場合もあります

治療法

○風疹ウイルスに効く薬はありません、症状に応じた対象療法になります

予防

○手洗い・うがい・マスク着用

○風疹ワクチン予防接種

風疹に罹ったことがない、予防接種を受けていない、予防接種1回（幼少期の接種のみ）、抗体価が陰性の方は風疹ワクチンの予防接種を受けることを、お勧めします

*妊娠中の方は風疹ワクチンの予防接種を受けることはできません